

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第1回 伊丹市国民健康保険運営協議会
開催日時	平成30年10月5日(金) 13:30~15:00
開催場所	伊丹市役所 議会棟3階 第2委員会室
出席者	梶原委員、金川委員、藤本委員、池信委員、吉村委員、梁川委員、千葉委員 上村委員、塩谷委員、中村委員、細川委員、唐津委員、原委員 (以上 13名(順不同))
欠席者	常岡委員
事務局	坂本健康福祉部長、藤本保健医療推進室長、中井健康政策課長、伊藤国保年金課長、他
会議の成立	委員総数14名のうち13名出席 <過半数出席のため成立する>
署名委員	藤本委員、唐津委員
傍聴者	0名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 諮問 4. 議題 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度伊丹市国保会計決算の概要について 5. その他 6. 閉会
備考	

議 事 要 旨

議題（１）平成29年度伊丹市国保会計決算の概要について

（事務局より資料「平成29年度国保会計決算の概要について」説明）

事 務 局

○質疑応答

上村 会長

事務局の説明にありましたが、精算金を翌年度に返還しないといけないということ指摘されていました。そうすると単年度収支が少し悪くなるということでしょうか。財政調整基金は記載されているよりも、精算金分については積み増しができないという理解でよろしいですか。

事 務 局

今回、精算金という部分を含みまして財政調整基金の方に積み増しています。もう一度、資料をご覧くださいよろしいでしょうか。

まず、平成 29 年度末の段階では一般会計に国保分として積み立てていた 8 億 3,700 万円を国民健康保険特別会計の財政調整基金に移管しました。次に、29 年度の決算剰余金として、実質収支は 14 億 7,500 万円ぐらいありまして、ここから精算金等を引くと、残りが 11 億 2,300 万ほどございます。結果として、合計すると 19 億 6,000 万円を保有している状況でございます。

上村 会長

ありがとうございます。そうすると、実質国保の財源として積み立てられた財政調整基金については、説明された数字だということですね。わかりました。

その他いかがでしょうか。はい、どうぞ。

唐津 委員

今の話と共通するところでありますけども、29年度は2億4,300万の黒字ということですが、実質、先ほど話にもありました3億円ほどを国に返さないといけないということは、つまり6,000万の赤字ということですね。収支状況の資料を見ますと、これまで収支はデコボコして一定しないのかなと思います。29年度は6,000万の赤字ですが、国保会計としては、ほぼ収支均衡しているという考え方でいいでしょうか。

事務局	<p>そうですね、現状で言いますと29年度の収支はほぼ均衡ではないかと思えます。ただ、法定外繰入金を一般会計から支援していただいている上での数字ですので、本来の国保会計だけの実力という意味では、やはり、そこを差し引いて考えた方がよいのではないかと思えます。しかしながら、決算上はこういう形で2億4,300万という単年度収支となります。さまざまな捉え方はありますが、6,000万円の赤字ということであれば、ほぼ収支は均衡しているのではないかという見方でよろしいかと思えます。</p>
上村 会長	<p>唐津委員よろしいですか。</p>
唐津 委員	<p>はい。次に、基金についてですが、先ほども現在19億、20億弱というお話があり、資料には他の市町との比較したものが載っております。この基金、決算剰余金が入ってきているので、実質8億程度ですよというお話がありました。資料には阪神間の各市が並べてありますけれども、各市の人口割という見方をしますと、伊丹市さんの状況というのはどのようなレベルで考えたらいいんでしょうか。そういう見方するのはおかしいのかもしれませんが、伊丹市の実力を見るためには有効でしょうか。</p>
事務局	<p>実際に各市の実力を計るには、おっしゃられる通り、いわゆる、実質収支と基金しかございませんが、この裏には実は法定外繰入金が隠れております。つまり、資料を見ていただきますと、例えば、平成29年度でお示しするならば、××市さんであれば、法定外繰入金として約16億円が入っています。本当の実力を考えるならば、実質収支と基金と法定外繰入金をセットで考えていかないとはいけません。今日はそこまでの分析ができておりません。せっかくアドバイスをいただきましたので、次回の運営協議会の中で、ご報告させていただこうと思えます。</p>
上村 会長	<p>その他どうでしょうか。</p> <p>事務局の説明のとおり、全体的には被保険者が減少局面に入り、医療給付費も減少局面に入ったというように考えてよろしいでしょうか。つまり、高額薬剤の効果を除いても医療給付費は減少しているとのことでした。今後もこの傾向は続いていくと考えていいものでしょうか。</p>

事務局

会長おっしゃられましたように医療費は相対的に、現在減少傾向にあるのは間違いがないことですが、平成 29 年度の一人当たり医療費は対前年度比 1.8%と上がっております。これは全国の市町村国保でも同じように一人当たり医療費は上がっております。一方で医療給付費全体は下がっているということでございますので、やっぱり一人当たり医療費っていうのは重視して考えていかないといけません。医療にかかる一人当たりの費用と、一人当たりの保険税との差というものが今後の財政運営の鍵になってくるかと思っておりますので、今のところおっしゃられました通り、医療費全体は縮小傾向にありますますが、一人当たり医療費は今後も伸びていく傾向にあると考えております。

事務局	<p>他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは他にご質問ご意見等が無いようですので、平成 29 年度伊丹市国保会計決算概要等については、一定ご理解をいただいたものと思います。次回からは本日の平成 29 年度決算の概要をふまえて、諮問事項の本市国民健康保険事業特別会計の財政健全化及び本市に課せられた国保事業費納付金を支払うための適切な保険税率のあり方について、及び財政調整基金の活用方法及び保有のあり方についての審議を進めていきたいと思っておりますので、委員の皆様よろしくお願いたします。</p>
上村 会長	<p>次回の審議にあたりまして、先ほど唐津委員からもご要望がありましたけども、今後の国保会計の見通しについてと財政調整基金の活用方法についての案が必要だと思っておりますので、事務局に資料の準備の依頼をいたします。よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>了解いたしました。次回の運営協議会で提出させていただきます。</p>

<p>事務局</p>	<p>報告事項(1)「後発医薬品の利用推進に関する報告について」</p> <p>(事務局より資料「後発医薬品(ジェネリック医薬品)の利用状況等について」)</p> <p>○質疑応答</p>
<p>上村 会長</p>	<p>ありがとうございました。何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。いかがでしょう。私の方からですが、ジェネリックの推進状況についての政府による数量シェア目標の80%ですけれども、達成できなかった場合はどうなりますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現時点でペナルティがあるとか、そういう話ではございません。</p>
<p>上村 会長</p>	<p>ありがとうございます。他市の状況はわかりますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>他市の状況というのは、まだ揃ってないので、今のところございませんが、平成30年度から保険者努力支援制度ということで、努力した保険者に対して新たに国から交付金がいただけるような仕組みが始まりました。その中でジェネリック医薬品の利用率についても評価対象となっております。数字が把握できましたら、皆様にご報告したいと思います。</p>
<p>上村 会長</p>	<p>資料を見ていると80%をあと2年で達成するということですよ、相当厳しいですね。今までの上昇率をそのまま足し算しても目標に到達できません。相当の努力が必要です。今のこの状況で国の基準を達成することは厳しいというのが私の印象です。</p>